

結城紬葉(筑波大学グッズ)の開発

【開発の背景】

UTプロジェクト※では、活動の一環として平成 21 年度より「結城紬素材を活かした日用品コンテスト」を開催しており、平成 24 年度で 4 回目を迎えました。この事業は茨城県の伝統工芸である結城紬について筑波大学の学生、筑波研究学園都市の研究者をはじめ、県民が伝統的な技術や文化を学びながら身近に接することで、結城紬産業の活性化を促すことを目的として、結城紬の端ぎれ・きりすね（織機の構造上織ることができずに残る糸）を使ったアイデア溢れる日用品を募集するものです。優れた作品については表彰し、実用化・商品化等の検討も行っています。

※UT プロジェクトとは、筑波大学教職員、紫峰会(筑波大学学生後援会)、茨城県工業技術センター繊維工業指導所職員、結城紬生産者の有志により、結城紬産業活性化を目指して平成 21 年に発足した産学官連携プロジェクト。筑波大学の英名である University of Tsukuba と結城紬 U-ki Tsumugi の頭文字から名付けられた。

【開発の経緯】

平成 22 年度に実施した「第 2 回結城紬素材を活かした日用品コンテスト」の入選作品の中から、結城紬の端ぎれを利用した作品「糸織(しおり)」について、商品化の検討を行いました。

この作品は、葉に付ける糸や細い紐が、織物のたて糸やよこ糸をそのまま活かしたのになっており、そこが高く評価され入選しました。そこで商品化にあたっては、そのアイデアを残すことを条件として材料、製作方法を検討しながら試作を重ね、学生が気軽に手にすることのできる価格設定の実現となりました。

商品の製作と販売はUTプロジェクトのメンバーである、新分野開拓研究会と紫峰会がそれぞれ担うことになりました。

商品として完成した結城紬葉には、筑波大学グッズを表すタグがつけられ、2011 年 10 月より筑波大学内のUTshop等で販売が開始されました。



図 1 第 2 回日用品コンテストで
入選した作品「糸織(しおり)」

【開発した製品の紹介】



図 2 大学グッズとして商品化された「結城紬葉」

販売開始より 1 年で、約 400 個を販売し、筑波大学グッズとしても定番商品となりました。

今後、製品の安定供給やオリジナルな柄展開等が課題ですが、結城紬を活かした更なる新アイデアによる大学グッズ展開も、期待されています。

○価格 : 580 円(税込み)

○販売元 : 筑波大学紫峰会

筑波大学学生会館内UTshop

(Tel 029-852-8572) 他で好評販売中

基礎となった事業

平成 23 年度 試験研究指導費(標準)

現在の担当部門

紬技術部門

部 門 長

篠塚 雅子

TEL:0296-33-4154

主任研究員

本庄 恵美

主任研究員

中野 睦子